



平成23年4月18日

各 位

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア  
 代表者 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸  
 (コード番号 3773)  
 問合せ先責任者 取締役 経営管理本部長 立松 克己  
 (TEL 03-5958-1031)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年4月18日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に開示した平成23年3月期通期連結業績予想を、下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,600	△185	△175	△155	△1,015.71
今回修正予想(B)	1,512	△120	△15	△1	△6.55
増減額(B-A)	△88	65	160	154	
増減率(%)	△5.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	1,247	△356	△304	△242	△1,621.73

#### 修正の理由

当期におきましては、中期経営計画最終年度にあたり「コアドメインの確立」「収益力の向上」に努めてまいりました。当第4四半期においては、金融・製造分野の売上が大きく伸長し本中期経営計画において最大の四半期売上高を計上する見通しとなりました。また、3月度においては298百万円と当社過去最大の月次営業利益(単体)を計上する見通しとなりました。

これらは、案件の大型化、プロジェクト管理能力の向上等、中期経営計画で目標としておりましたソリューション事業の体質強化によるもので、結果、粗利益率が当初計画を上回り、さらには販売費及び一般管理費の削減も計画以上に推移いたしました。これらに加え、連結持分法適用関連会社Multimodal Technologies, Inc.(米国)の業績が極めて好調に推移し、当初予想以上の持分法投資利益を営業外収益に計上する見通しとなりました。さらに貸倒実績率が改善したことによる貸倒引当金戻入益が発生しました。

これらの結果、連結営業利益、連結経常利益および連結当期純利益の赤字幅が大幅に縮小する為、業績予想を修正することといたしました。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況等の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

以 上